

すぐれた品質で面積拡大中の早生品種

# さえみどり



今、栽培面積が増えている評判の早生品種です。

「やぶきた」より4日〜1週間早く、走り新茶にふさわしい香りと味が人気を呼んでいます。

## 品種の来歴と特徴

昭和44年に、農林省茶業試験場枕崎支場現独立行政法人野菜茶業研究所で、「やぶきた」を母親に、「あさつゆ」を父親として交配した中から選抜された品種です。品種として登録されたのは平成2年です。

「やぶきた」より4日〜1週間早い早生品種です。樹姿は中間型で芽数型タイプのものです。

## 品質の特性

「さえみどり」の魅力は何といってもすぐれた品質にあります。外観は、色が明るい冴えた鮮緑色です。香気は上品な芳香です。滋味は、渋味が少なく、うま味があります。早生品種の中では抜群で、両親の「やぶきた」「あさつゆ」と比べても、少しもひけをとりません。

## 栽培上の注意点

早生品種の宿命ですが、晩霜害を受けやすく、その後の回復もよくありません。耐寒性は強い方です。幼木期は、風の強いところは防風対策が必要です。耐病性は、炭そ病については中、輪斑病については弱ですので、発生地域では防除の必要があります。収量は、抜群に多くはありませんが、芽数型で、早生品種の中では安定しています。

## 加工上の注意点

水色は、普通蒸しの場合、やや赤味を帯びることがあります。少し深蒸しにすると、きれいな緑色になります。

## 普及および栽培適地

当初は南九州を中心に普及しました。現在は静岡県、近畿地方でも栽培面積が増えています。鹿児島県・宮崎県・静岡県などでブレンドせずに単品として販売される例も出てきました。

## 苗木の入手方法

「さえみどり」については、苗の生産が希望に追いつかず、大変手に入りにくい状況にあります。栽培を希望する方は、地元の農協等を通じて各県の経済連あるいは茶生産協会に希望の本数を伝えて下さい。経済連等では、種苗管理センターから取り寄せた原種を増殖して、苗を配布することになっています。

## 命名の由来

色が鮮緑色で冴えがあり、新葉の鮮やかな緑とともに「さえみどり」という名前の由来となりました。



品種名	育成年	種苗登録の有無	育成場所	来歴	
				やぶきた	あさつゆ
さえみどり	1990	有	野菜茶試	やぶきた	あさつゆ



早晩性	樹姿	樹勢	収量性	品質			耐寒性 (赤枯れ)	耐病性 (炭そ病)
				色沢	香気	滋味		
早生	中間	やや強	中	上	上	上	強	中